

校長便り 怒濤 高

県立糸満高校

平成28年12月1日(木)
校長 辻上 弘子
第 15 号

蒔いた種は 咲かせてみたい

とわたくしどもは思っております。もちろんご承知の通り、教育というものは1年や2年ですぐに結果がでるものではございませんし、結果の出ない場合も多々あるでしょう。しかしそれでも、子どもたちのこれからの長い人生の中で、ああ糸満高校でのこんなことが役に立ったなと、思ってもらえたらいいし、よしんば彼らが気づかなくとも、彼らの自分という大木の根っここのひげ根くらいにはなっていたいと思うわけです。ただいま 期末考査の真最中でございます。素直な生徒たちは、いつもはそれほど熱心とはいえないけれども、せめてこの期間は勉強しなくてはと、眠い目をこすりつつも試験範囲の問題を再度自分で解き直して参ります。かわいい子どもたちです。廊下を通れば立ち止まって挨拶をし、重そうに荷物を持っていれば「持ちましょうか」と声をかけ、いつだって人の役に立ちたいと思っている。そんな子どもたちが千人以上いるのが本校でございます。高校3年間を過ごすにあたり、彼らは何を求めて本校を選んだのか。不遜な表現ではありますが、わたくしども職員団は子どもたちに本当の力をつけてやりたいと思っているのです。実社会で自分らしく生きていく力を身につけてほしい。骨太の人間力と学力を本校で培って欲しい。大きな花を咲かせるべく種を蒔き、お子さまの夢実現に向けて全職員で支援いたします。

自分の学びを自分でデザイン 新しい風が吹いて参ります

先日の特進クラス保護者懇談会やP T A進路学習会は、共に盛況で多目的室満杯のご参加を頂き、驚くと同時に喜びました。本校は次年度から子ども達がより主体的に学んでいけるよう 新たな体制へと変わります。特進必修講座、夏期講座を希望制にする等、全ての生徒が自分の学びを一層深くできるようバックアップをいたします。どうぞ、お子さまへの応援をお願いします。